

総合学習にはもってこいよ



ちょっと中山文部科学大臣！せっかく準備してるんだから総合学習廃止なんてしないでよ

MM

本誌の新鋭記者、MMでえす。

きょう卒園式でした。春からは小学生よ。

パパの話だと、WOOには若い女の子というだけで寄ってくるこわいおじさんがいるということなので、女の子は生まれた瞬間から注意しないとイケませんが、今回はFさんとSさん・Tさんと、いつものメンバーなので安心です。



本当に安心なのか、ちょっと疑問になる一枚

関西の鉄道マニアのメッカといえば交通科学館と梅小路蒸気機関車館だそうです。交通科学館はこのあいだ幼稚園の遠足で行ったので、この取材で短期間のうちに「てつ」メッカを2カ所とも制覇してしまいました。鉄分だけはサプリメントは不要ね。

さて梅小路蒸気機関車館は、日本の鉄道100年を記念して1972年にできました。パパが子どもの頃ね。

この特徴は、右図のように扇形車庫を中心とした配置で、見て触れる蒸気機関車の展示と、さらに動く状態での保存(動態保存)、そして乗車と、体験型の博物館になっていることでしょう。もちろん蒸気機関車資料館としても全国一の内容と規模だそうです。



大きな車輪を使ったモニュメントがあるエントランスを通りすぎると入り口です。二条駅の古い駅舎を利用したりっぱな建物です。入場券は大人400円、四歳以上100円です。子ども料金が安く設定されているのは良心的ですね。改札を抜けると資料館なのですが、今回は時間がなかったのでパス。



「SLスチーム号」の運転を見に行きます。この「SLスチーム号」は一日に3回、専用の運転



線を運行するもので、料金は大人200円、こども100円とこれまたリーズナブルです。乗りたかったわあ。

時期によって走る列車が違うようで、今回はC62が走っていました。

SLって初めて見ました。アンパンマンに出てくるSLマンしか知らなかったの、こんなに大きくて迫力のあるものだとは思いませんでした。感動です。

これは山口線や大井川鉄道にも乗りに行かなくてははいけませんね、って鉄分濃すぎですかね…。



梅小路蒸気機関車館のもう一つの目玉が転車台と扇形車庫です。

蒸気機関車は電気機関車やディーゼル機関車と違って、前後の向きが決まっています。終点に着いて反対方向に進むためには向きを変えなくてははいけません。そのため昔は鉄道の終点には転車台がたくさんあったそうです。その転車台の周りに扇を広げたように配置した車庫が扇形車庫です。

この扇形車庫に18両の蒸気機関車が展示されています。

車庫から出た蒸気機関車が転車台でゆっくり回る姿も見てみたかったです。モーターショーで自動車が回る姿はTVなんかでよく見ますが、蒸気機関車なら圧巻でしょうね。

これはぜひ磐越西線や釧網本線も見に行かなくてははいけませんね、って鉄分濃すぎですかね…。



運転線の横には「ちびっこ広場」が。常にSLを視野に入れて遊ぶことができます。

っていうかSLに目を奪われたお父さんに放置された子どもとお母さん置き場？

このほかにもSLを眺めることができるおしゃれな休憩所や、SLグッズがいっぱいのお土産ショップもあります。

また小さなお子様には、SLの形をした小さなモーターカーも人気です。っていうか、それに乗ろうと思って並んでたら時間が無くなってしまい、資料館やお土産ショップを見ることができませんでした。

最近パパは鉄分が徐々に満ちてきたらしいので、また連れて行ってもらおうと思います。

これで総合学習もばっちり、かしらね。

おわり